

東京都立大江戸高等学校 平成30年度 保健体育科 年間授業計画

1. 科目名 保健 2. 講座名(単位数) 保健(2年)(1単位)

3. 教科担当者

4. 使用教科書・教材 『現代高等保健体育 改訂版』(大修館)

5. 授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数	
1 学期	4	○生活習慣病とその予防	○生活習慣病予防の二次予防としての、健康診断の重要性を理解する。 ○毎日取り入れる栄養素が成長期の発育・発達に重要な役割を持つことを理解する。 ○運動不足が身体に与える悪影響について理解する。 ○良質な休養が及ぼす影響について理解する。 ○未成年の飲酒・喫煙・薬物乱用の健康被害及び社会問題について理解する。誘われたときの適切な対応を覚える。	【評価の観点】	2	
	5	○食事と健康		○「関心・意欲・態度」 心身の健康や社会の取り組み等に関心を持ち、自ら実践するため、意欲的に考えたり発表したりしようとしている。	4	
		○運動と健康				
		○休養・睡眠と健康				
	6	○喫煙と健康 ○飲酒と健康			○「思考・判断」 課題の解決を目指して科学的に思考し、総合的にとらえ、適切な意思決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。	4
	7	○薬物乱用と健康				3
	2 学期	9		○現代の感染症 ○感染症の予防 ○性感染症・エイズとその予防	○感染症と性感染症について、感染源・感染経路についての知識を深め予防に努める意欲を高める	
10		○加齢と健康 ○高齢者のための社会的取り組み ○保健制度とその活用	○高齢社会に向け、様々な機関の連携と総合的な対策が必要なことを理解する。		3	
11		○医療制度とその活用 ○医薬品と健康 ○さまざまな保健活動や対策	○医薬品の正しい使用法と安全性を守る取り組みについて理解する。 さまざまな医療機関の役割について理解する。	○「知識・理解」 課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。	4	
12		○大気汚染と健康 ○水質汚濁・土壌汚染と健康	○環境汚染の原因とその健康影響を理解する。	【評価の方法】 ○定期考査 ○授業態度	3	
3 学期	1	○健康被害の防止と環境対策	○環境汚染を防ぐための取り組みにを理解し、日常生活でできることを探る。	○提出物	3	
	2	○環境衛生活動のしくみと働き ○食品衛生活動のしくみと働き	○環境や食品における、健康被害の防止や健康の保持増進について理解する。	○グループワーク 以上の点から、総合的に評価する。	3	
	3	○食品と環境の保健と私たち			2	
予定時数計					35	